

梅 檀

学校探検



五月二十六日、一年生が学校に何かあるのかわかるために探検を行いました。その案内をするのが二年生です。二年生は一年生の手を引いて校舎を紹介していました。紹介が終わった後、二年生が一年生のカードにシールを貼ってあげていました。実は二年生は事前に自分たちで練習をしていました。その練習の成果が出て、一年生の前では上手に発表できていたと思います。歳は一歳しかかわりませんが、たくましいお兄ちゃん・お姉ちゃんに見えました。



交通安全

五月二十八日、名護署の交通課、大城さん・大兼久さんをお招きし、交通安全指導教室を行いました。まず、最初の時間は一・二年生を対象に安全な道路の渡り方を、教えてもらいました。交通安全マスコット人形の「けんちゃん」が登場すると、みんな楽しそうにお話を聞いていました。その後、実際に信号のある横断歩道を渡る練習をしました。

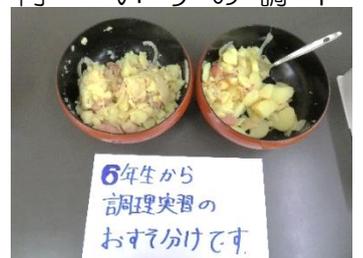


次の時間は三〜六年生が、自転車の正しい乗り方について、教えてもらいました。最後に、宮城心珀さんが児童代表のお礼の言葉として「つねに交通规则を守り、事故に遭わないよう気をつけたいと思います。交通事故の怖さについて改めて知ることができました」と話していました。みなさん、聞く姿勢がとてもよかったですと思います。



六年生の調理実習

六年生は調理実習で「ジャーマンポテト」を作りました。調理の様子を見てみると、手際の良い子が数名いるのがわかりました。家でしっかりお手伝いしているんですね。中には、料理から離れて洗い物を専門にやる子もいました。人があまやりたがらないことを自分から進んでやっています。本当にえらいですね。きっと数年後、人の助けになる、しっかりした大人になることでしょう。これからの成長が楽しみです。



ある授業で

ある国語の授業で、大きく印刷された教科書を黒板に貼り、子どもが読み取ったことを先生が聞いて、その紙に書いていました。紙は、次第に子どもたちの言葉でいっぱいになります。その最中、先生が大切にしていたのは『子どもたちが話したことを仲間の子どもたちが、ちゃんと聞いているか』ということでした。聞いていなかった場合は授業を止めて「～さんの言ったことちゃんと聞いていた?」「～さんは一生懸命話してるのだから…」と諭します。授業の主役は子どもたちです。だからこそ、子どもたちの話す言葉を大切にします。個の尊厳を重んじる教師の姿勢を感じました。

